

おわりに

人口減少や少子高齢化を含め、笠松町を取り巻く社会情勢が急速に変化しており、今まさに地方創生に取り組まなければなりません。

笠松町は、結婚等を理由とした20歳代の転入超過の恩恵を受けて、近年総人口は横ばいに推移しており、人口減少問題の影響を比較的受けていません。

しかし、結婚等の理由により町内の賃貸アパート等に転入してきた若い世代の中には、新しい住宅に住み替える時に町外へ転出するという傾向があり、このままでは出生数の減少等で着実に人口減少が進行していきます。

また、総人口は横ばいですが、高齢化により人口構造は大きく変化しています。このまま高齢化や人口減少への対策を講じなければ、人口構造のバランスが崩れてしまう懸念があります。

笠松町が将来においても持続可能なまちづくりを進め、人口減少社会においても安定した地域社会を構築するためには、笠松町の人口を維持するだけでなく、人口構造の改善を図るとともに共助の意識を高める必要があります。

この課題を解決するために、「笠松町人口ビジョン」において目指すべき将来の方向性と2060年の将来展望を示し、また「笠松町総合戦略」において今後5年間の取り組むべき重要施策と重要業績評価指標(KPI)を設定しました。

施策を推進するにあたっては、笠松町の事業が継続する状態を目指さなければなりませんし、夢を持って前向きに取り組むことも求められます。全国画一的ではなく、笠松町の実態に合った施策を展開し、限られた時間の中で、自ら、直接、集中的に施策を遂行しなければなりません。明確なPDCAサイクルの下、結果が重視されます。まさに、自立した自治体を目指さなければなりません。

岐阜都市圏の一翼を担う創造文化都市として持続的に成長するために、今回策定した笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略の様々な施策を丁寧に行い、町民の皆様とともに、「清流木曾川に抱かれた“ひと・まち・自然”輝く創造文化都市」を基本方針としてまちづくりを推進していきます。